

生徒指導通信

新潟県立三条東高等学校
生徒指導部
令和2年2月25日 No.10

○「地域の声を聞く会」より

先日、本校で行われた「地域の声を聞く会」(本校周辺にお住まいの皆様、近隣中学校長、学校評議員の方々が来校され御意見を頂く会)にてよい点、悪かった点それぞれ伺うことが出来ました。

よい点については今後も自信を持って継続していくべきこととして考えましょう。また、悪かった点については改善策を考え、気持ちから改めて直していくことが求められています。真摯に受け止め、堂々と誇れる三条東高校生を目指していきましょう。



○よい点

- ・授業参観に参加し、高校生らしい態度とレベルの高い授業に感心して見学した。
- ・地域の見守り運動を続けており、挨拶が活気あるものに変化したと思っている。等

×悪かった点

- ・登下校時の飛び出し、ヘッドフォン(イヤフォン)着用、歩きスマホについて 等

△御意見

- ・読解力は社会人として必須条件。読解力向上のため、読書活動を生徒に強く勧めたい。

○心に響く言葉・やる気が出る名言 (抜粋)

心に響く良い言葉との出会いは、困難な状況でその人を支えてくれるだけでなく、その人の人生を大きく変えることすらあります。人により、またはタイミングにより心に響く言葉は違ってくるはずです。日々の生活の中で参考にできるものを見つけてみてください。(下記の名言に限らず、探してみることもオススメです)

「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」 井上靖

「有能な者は行動するが、無能な者は講釈ばかりする」 ジョージ・バーナード・ショー

「天子から庶民にいたるまで、人の第一の目的とすべきことは生活を正すことにある」 孔子「大学」

「神よ、変えることのできない事柄については、それをそのまま受け入れる平静さを、変えることのできる事柄については、それを変える勇気を、そしてこの二つの違いを見定める叡智を、私にお与えください。」 ラインホルド・ニーバー

「夢はでっかく 根はふかく」 相田みつを

「私たちに偉大なことはできません。偉大な愛で小さなことをするだけです」 マザー・テレサ

「堂々と勝ち堂々と負けよ」 カール・ダイム

「自分が行動したことすべてはとるに足りないことかもしれない。

しかし、行動したというそのことが重要なのである」 マハトマ・ガンディー

「いのちが一番大切だと思っていたころ生きるのが苦しかった。

いのちより大切なものがあると知った日生きているのがうれしかった」 星野富弘

「常識っていうのは18歳までに身につけた偏見のコレクションのことさ」

アルベルト・アインシュタイン

「心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。

習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。」 ウィリアム・ジェームス



〇規則、きまり、ルール、校則について

生活を守るために社会にはいろいろな規則やルールが、学校には校則があり、条文やマニュアル、生徒心得等が設けられています。さて、それぞれのきまりを守って生活を送ることができていますか？もっとも知っているだけでは意味がありませんし、実行されていないならば最終的に自分自身が困ることになりますので、ただちに改善してください。ただ、他県の名門校で有名な N 高校には校則がないそうですが、身だしなみは他校より地味で普段の行動も礼儀正しく、学校生活も落ち着いて送っているそうです。きまりとはどういう意味があるのか改めて考えさせられます。



そのきまりについて、条文やマニュアル、生徒心得等の文字になっても人間として大切なところを考えてもらいたと思い、下に「ディズニーリゾート」での実話を掲載しましたので、考えてみましょう！

～マニュアルを超えたところに感動がある～

東京ディズニーランドにある若い夫婦が来ました。ランド内のレストランで彼らはお子様ランチを注文したのです。

もちろん、お子様ランチは9歳以下とメニューにも書いてあります。子供のいないカップルにはマニュアルではお断りする種類のもので、当然、「恐れいりますが、このメニューにも書いてありますが、お子様ランチはお子様用ですし、大人には少し物足りないかと思われるので・・・」というのがマニュアルです。



しかし、アルバイト（キャスト）の青年は、マニュアルから一步踏み出して尋ねました。「失礼ですが、お子様ランチは誰が食べられるのですか？」「死んだ子供のために注文したくて」奥さんが答える。「亡くなられた子供さんに」とキャストは絶句しました。

「私たち夫婦は子供がなかなか産まれませんでした。求め続けて求め続けてやっと待望の娘が産まれましたが、体が弱く一歳の誕生日を待たずに神様のもとに召されたのです。私たち夫婦も泣いて過ごしました。子供の一周忌に、いつかは子供を連れて来ようと話していたディズニーランドに来たのです。そしたらゲートのところで渡されたマップに、ここにお子様ランチがあると

書いてあったので思い出に・・・」そう言って夫婦は目を伏せました。

キャストのアルバイトは「そうですか。では、どうぞ召し上がって下さい」と応じました。そして、「ご家族の皆さま、どうぞこちらのほうに」と4人席の家族テーブルに夫婦を移動させ、それから子供用のイスを一つ用意しました。そして「子供さんはこちらに」とまるで亡くなった子供が生きているかのように小さなイスに導いたのです。

しばらくして運ばれてきたのは3人分のお子様ランチでした。キャストは「ご家族でごゆっくりお楽しみ下さい」と挨拶して、その場を立ち去りました。若い夫婦は失われた子供との日々をかみしめながら、お子様ランチを食べました。

このような行為はマニュアル破りの規則違反です。しかし、東京ディズニーランドでは先輩も同僚も彼の行動をとがめません。それどころか彼の行為はディズニーランドでは賞賛されるのです。マニュアルは基本でしかありません。それを超えるところに感動が潜んでいるのです。

この出来事に感動した若い夫婦は帰宅後に手紙を書きました。「お子様ランチを食べながら涙が止まりませんでした。まるで娘が生きているように家族の団らんを味わいました。こんな娘との団らんの体験を東京ディズニーランドでさせていただくと、夢にも思いませんでした。これから二人で涙を拭いて生きていきます。また、二周忌、三周忌に娘を連れてディズニーランドに必ず行きます。そして、私たちは話し合いました。今度はこの子の妹か弟を連れてきつと遊びに行きます」

こういう手紙がディズニーランドには連日届けられます。そして、それはすぐに張り出され、コピーされ、舞台裏で出演の準備をするキャストに配られます。舞台裏ではキャストとして働いている多くの男女が共感して泣くそうです。でも、しばらくして先輩が号令をかけます。「涙はここ（舞台裏）まで、パーク内では涙は禁物。今日も日本中や世界中の人たちが、ここディズニーランドに感動を求めて来ています。今日はどんなドラマを誰が創るのかな？それでは、みんな笑顔の準備を！」と。

引用元：「FP 社長のひとりごと（ブログ）」<http://fpshatyou.cocolog-nifty.com/blog/2005/04/index.html> より

新潟県立三条東高等学校 生徒指導部 係：坂爪

TEL 0256(38)6461



学校ホームページ QR コード

以前の生徒指導通信も掲載されています